

事業計画（詳細）

団体名：西川地域コミュニティ協議会

評価項目	経営理念・経営方針
<ul style="list-style-type: none"> ○ 新潟市民が、だれでも、いつでも、いつまでもスポーツや健康とのふれあいの場として集える施設づくりをめざす。 ○ 新潟市民が気軽に利用できる快適なスポーツ環境、ふれあい環境の提供をめざす。 ○ 西川地域活性化の基点的存在になるよう運営する。 ○ 地元団体ならではの地域に根差した運営をする。 	
評価項目	施設の管理方法
<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者の視点に立ち、平等に利用できるよう公共性、公平性を確保した管理運営をする。また特定の世代に偏ることなく、若年層からや高齢者また障害者を含む幅広い層の市民が活動できる環境整備と市民のスポーツへのニーズを踏まえ、諸事業、諸活動の実施を図っていく。 ○ 安全・安心で利便性の高い環境をつくる。 	
評価項目	新潟市の施策に対する理解
<ul style="list-style-type: none"> ○ 新潟市スポーツ振興基本計画「スポ柳都にいがた」プラン（スポーツに満ちた明るく豊かな新潟市）の実現に努める。 ○ 新潟市が進めるスマートウェルネスシティ（SWC）事業にスポーツという面を中心に協力を図っていく。 ○ 西蒲区ビジョンである <ul style="list-style-type: none"> ① 人が行き交う活力あるまちづくり ② 人と人がふれあうまち ③ スポーツが楽しめる環境づくりの実現に努める。 <p>さらに健康運動実践の場として、公共スポーツ施設が安心、安全かつ快適に利用できるような管理運営に努める。</p>	

評価項目	予算の範囲内での適正な執行
<ul style="list-style-type: none"> ○ 指定管理費や使用料の取り扱いについて、厳粛に業務を遂行する。 ○ 無駄のない適切な予算の執行をおこなう。 ○ 西川地域はじめ西蒲区内への産業振興を考慮した予算の執行をおこなう。 	
評価項目	稼働率アップへの取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者が施設利用を通し、健康増進、余暇活動の充実、さらに健康で楽しく生活を送ることができ、充足感が感じられる管理運営をすることが利用増へと繋がる。 ○ 運動に取り組む環境づくりと利用者数の増加促進、稼働率向上への具体的取り組みを次に掲げる。 <ul style="list-style-type: none"> ① スポーツ施設らしい明るくさわやかな接遇の徹底 ② 健康、スポーツに関する情報や教室案内等の広報、啓発活動 ③ 健康教室の開催 ④ 確実な用器具の点検、整備 ⑤ 分煙を実施。受動喫煙防止。屋外指定。 ⑥ 利用案内および利用予定表等の掲示 ⑦ 健康機器（血圧計、体重計、体脂肪測定器等）の備え ○ 平日昼間の利用率アップへの課題を探り、その解消に向けた取り組みを実施する。 	
評価項目	事業計画の具体性・実現性
<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の老朽化への対応が大きな課題であるが、利用者に安心かつ安全で日常的に利用してもらうため、経年劣化の激しい設備や機器について補修、修繕をおこなう。 ○ 施設、設備の保守点検業務は専門業者への委託を主におこなうほか、職員スタッフによる日常点検、清掃業務をおこなう。 ○ 施設、設備の老朽化が大きな課題であるが市と協議の上、適正な予算執行と経費節減により生じた予算を活用した修繕工事や設備、備品の拡充を図る。 ○ 施設利用者の快適性や満足度の向上に視点をおき、以下の改善をおこなう。 <ul style="list-style-type: none"> ① トイレの洋式化と便座温水化およびバリアフリー化（体育センター） 	

	<ul style="list-style-type: none"> ② 場内、館内の案内板、掲示板、表示板等の総点検および設置、整備 ③ 駐車禁止表示と事故防止表示 ④ 屋外喫煙所 ⑤ 卓球台増台
<p>評価項目</p>	<p>要望・苦情への対応</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 要望・苦情は全職員スタッフが受け付けられるようにし、「ご意見箱」を施設内に設置し、気楽に投稿できるようにする。 ○ 要望・苦情、特に苦情は施設の発展、成長に貴重なものであり、ミーティングなどで職員スタッフ間の情報共有を図り、再発防止に努める。また記録を残し、対応策をまとめ職員スタッフが閲覧できるようにし、意識の共有化を図る。 ○ 要望・苦情が寄せられた際には、指定管理者で可能なものについては迅速、ていねいに対応し、その他のものは市と協議し、できるだけ迅速に対応する。 ○ 要望・苦情の対応結果については、当該利用者に報告、説明し、掲示板で公表し、施設としての対応を明らかにする。 ○ 定期的なアンケートの実施。集計を通し、目に見える共通理解を図る。 ○ 苦情対応マニュアルの作成。
<p>評価項目</p>	<p>管理経費削減の具体的な取り組み</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 随所に施設設備の老朽化を認める。小規模修繕を基軸とした施設管理が理想であり、極力、大規模修繕を防ぎたいと考えるが現況では喫緊の修繕課題がある。長期間にわたる施設利用ができるよう、施設設備が安全に使用できるように点検を重ねる。日常点検の重視。月間および年間の点検スケジュールのもとで安全点検の実施をおこなう、早期発見と早期対応を実施する。 ○ 施設の保全や快適性の確保、利用者サービス等の業務レベルを確保した上で、無理のないローコスト化を追求する。 ○ 適正と機能的かつ柔軟性ある人員配置をおこなう。 ○ 職員スタッフ間の連携強化推進を図る。業務分担の横断を可能な範囲で実施。

評価項目	自主事業の提案内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新潟市民の生涯体育、スポーツへの取り組みを念頭に据え、その環境づくりに邁進したい。当面は、既存のプログラム、教室、大会等の円滑な実施に万全な協力支援をおこなう。 ○ 自主事業の実現にあたっては、地元関係団体との連携により、その実績を活用した取り組みをおこなう。 ○ 西蒲区民の施設利用のおおまかな現状の実績では、スポーツパークが3～4割、体育センターでは6～7割が利用している。地域に密着して愛されるスポーツ施設、コミュニティの場となりうる独自事業を提案しなければならない。 ○ 将来的には全人口の3分の1を占める高齢者層の取り込み自主事業を実施する。また介護予防や健康づくりを踏まえた生涯スポーツに結びつく教室等を開催する。 ○ 新潟市運動普及推進協議会の健康づくり実践活動の導入。高齢者が楽しく運動し、健康の保持増進に努め、明るい地域社会づくりに貢献できる人材を育む。
評価項目	従事者の雇用・労働条件・人員配置
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全職員スタッフが職域の壁を取り払い、一丸となった運営体制を構築していく。 ○ 地域の活性化を主眼に置き、今後も変わらずに地元雇用の促進を図っていく。 ○ 休憩、休息が取得しやすく、生き生きと業務が遂行できる労働環境をつくり、適正な人員配置を実施していく。 ○ 施設管理で管理経験豊富な人材の新規雇用。
評価項目	人材育成の取り組み
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員スタッフの資質向上を旨とした研修計画を実施する。 ○ 段階的に安全性、公共性を基盤におき、快適性へと発展させる。具体的には <ul style="list-style-type: none"> ① 施設業務、施設機能掌握研修 ～ 施設予約、申請、巡回などの日常業務の習得。主要な設備、機器の操作方法の習得。 ② 接客、接遇・マナー研修 ～ 窓口対応、電話対応などの接客研修。

<ul style="list-style-type: none"> ③ 救命救急研修 ～ 赤十字救急法救急員養成講習会や消防局指導の講習会。 AED 講習会への参加。 ④ 個人情報保護、守秘義務の研修 ⑤ 防犯、防災教育 ～ 盗難、不審者、火災、台風、地震などの発生に対して的確な対処がきるようにする。 ⑥ OA 研修 ～ 予約システムへのスキルアップ。データ管理。 ⑦ 柔軟な立案、研修により主体的に運営に携わる人材を育成する。

評価項目	安全確保・災害時の対応
<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故発生時の緊急体制 <ul style="list-style-type: none"> ① 緊急時（事故・病人発生）における対応 ～ 応急手当、病院搬送、AED の使用 ② 火災、地震発生時における対応 ～ 避難誘導、初期消火、被災状況の確認 ③ 犯罪等発生時における対応 ～ 安全確保、現場保存、避難誘導 ④ 建物設備等の異常発生時における対応 ～ 故障確認、利用中止措置、復旧活動。 ○ 利用開始前の巡回点検を通し、事故発生のリスクを排除し、不測の事態の未然防止に努める。 ○ マニュアルの作成 	

評価項目	環境保護の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境に配慮（分煙の実施、熱中症予防、みんなのための共有スポーツ施設という自覚啓発活動）した管理に取り組む。 ○ 電気、ガス、水道の使用量について実績把握と利用者の環境を損なうことのないような省エネルギー対策の推進を図る。 ○ ごみの持ち帰り運動の推進と施設内における廃棄物削減。分別ポスター、分別箱設置。 ○ ごみの減量化とリサイクル意識の向上を図る。 	

評価項目	社会貢献活動の実績
<p>○ 現在、西川地域コミュニティ協議会では「一級河川西川流域美化運動」や「春秋の地区合同のクリーン作戦」などの環境整備や、小中学生を対象にした文化講演会、中高年者を対象に健康体操実技講座、住民親睦の「たんぼサッカー大会」や地区の安心・安全のための鍵掛けや交通安全街頭指導 など多岐に亘り活動を行っているが、次の事項についても更なる活動を行う。</p> <p>① 施設管理者としての自覚と責任の下、一人ひとりの社会諸活動への取り組みを基本にして、地域に積極的に入り込んだ貢献活動を展開していく。</p> <p>② 快適な生活環境づくりのため、地域のモラル・マナーの向上やごみ収集についての啓発活動に協力する。</p> <p>③ 施設周辺の清掃、隣接地域の美化活動に積極的に参加する。</p> <p>④ 地域の子どもの安全を守るため、「子ども 110 番設置」に申請する。</p>	
評価項目	個人情報保護の取り組み・関係法令の遵守
<p>○ 高度情報化社会への対応をおこたり無く進め、職員スタッフの研修を通し、組織全体で法令順守体制の徹底を図る。</p> <p>○ 利用者の個人情報の重要性を認識し、利用者に不安を感じさせることが無いように厳重に情報管理をしていく。受付簿などの管理。</p> <p>○ 情報の開示、公開に対する対応として、種々活動の透明性確保と公正で開かれた指定管理業務を推進する。</p>	
評価項目	地元団体の活用
<p>○ 公共スポーツ施設のもつ地域社会への役割は大きい。施設の活性化が地域社会の活性化に繋がり、市全体への活性化に繋がる。身近な施設でのスポーツ、健康に関する実践と啓発活動が、子どもから高齢者まで広く年齢層に浸透することで相乗的な繋がりが生まれ、生涯スポーツへと発展することになる。</p> <p>○ 諸事業実施にあたっては自治会・町内会、体育協会や 20 余りのコミュニティ協議会加盟団体など諸団体との連携を念頭におき、地域社会への貢献を大きな基礎テーマに置き、取り組む。</p> <p>○ 地域行事への積極的な参加、運営協力。</p>	

- 「子ども 110 番設置」へ登録
- 多様な協働事業を企画し、地域との連携を拡大していく。幅広い年齢層の市民が施設を知り、親しんでもらえるきっかけをつくり出す。

評価項目	自己評価
------	------

- 上記事業計画の実施について、職員スタッフで協議し、課題、問題点を共有し、次年度の企画運営に活かしていく。